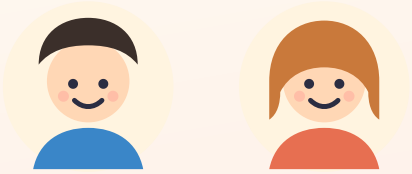
Season 7 | No.61



和室と畳

たたみとふすまのある部屋を知ろう



全30ページ | 無料教材

一般社団法人文化芸術支援協会

この教材の使い方

1 **見て・ふれて・感じる**
写真や実物、動画でも確かめてみましょう。身近な行事や食べ物の中にも、日本文化はたくさんあります。

2 **「なぜ？」を考える**
行事やしきたりには、それぞれ意味や願いがこめられています。由来を知ると、ぐっと面白くなります。

3 **「やってみよう」で体験する**
答えは30ページにあります。家族や地域の人に話を聞くのもおすすめです。地域によるちがいも楽しみましょう。



Ken（ケン）
日本の中学生。地元のお祭りが大好き。



Emma（エマ）
カナダから来た留学生。日本文化を勉強中。

もくじ

和室を知る 3〜7
和室の作法 8〜11
今の和室 12〜15
たしかめよう 16〜17
由来と広がり 18〜20
マナーとことば 21〜23
ふり返り 24〜25
つなげよう 26〜30

Lesson 1

和室ってなに？

和室は、畳をしいた日本ならではの部屋です。

和室とは、畳をしいた日本風の部屋のことです。ふすまや障子で仕切られ、床の間があることも多い部屋です。
決まった家具を置かないので、すわる・食べる・ねるなど、ひとつの部屋をいろいろな目的で使えるのが和室の特徴です。



和室
わしつ／Japanese-style room
畳をしいた日本風の部屋

畳
たたみ／tatami
い草を編んだしきものの床材

ポイント

- 和室には、畳・ふすま・障子・床の間などがあります。
- 家具が少ないので、部屋を広く使ったり、模様がえをしたりしやすいです。
- 家庭によって、和室がある家とない家があります。

やってみよう

1. 自分の家やまわりで、和室を見たことがあるか書いてみよう。

2. 和室にあるものを、思いつくだけ書いてみよう。

ワンポイント 同じ和室でも、客間・居間・寝室など、使う人や時間によって役目が変わることがあります。

書いて覚えよう

 個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

Lesson 2

畳の歴史

畳は、長い時間をかけて今の形になりました。

平安時代

へいあん

たたんで運べるしきものとして、身分の高い人が使っていたといわれています

起源

室町〜江戸時代

むろまち〜えど

部屋全体に畳をしきつめる書院造が広まったといわれています

広がり

今

いま

一般の家庭の和室としても親しまれています

現在

ポイント

- 昔の畳は、今のように床全体にしくものではなく、必要な場所にだけ置くものだったといわれています。
- 時代が進むにつれて、畳をしきつめた部屋が少しずつ広まっていきました。

やってみよう

1. 畳が今の形になるまで、どのくらいの時間がかかったと思いますか。

　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

ワンポイント 畳の歴史には諸説あります。地域や資料によって伝えられ方が少しちがうこともあります。

書いて覚えよう

Lesson 3-4

畳の材料（い草）・畳のサイズ

畳は自然の材料でできていて、大きさにも種類があります。

い草
いぐさ／igusa rush
畳の表面を編むための植物

へり
縁
畳のふちを守る布

名前	大きさの目安	主に使われる地域
京間	やや大きめ	関西など
江戸間	京間より小さめ	関東など
団地間	さらに小さめ	集合住宅など

ポイント

- 畳の表面は、い草という植物を編んでつくられています。
- 畳の大きさは地域によってちがい、部屋の広さは畳の数（畳数）で表すことがあります。

やってみよう

1. 自分の部屋の広さを、畳の数で表すと何畳くらいか考えてみよう。

_____

書いて覚えよう

Lesson
5-6

畳のしき方・畳のへり

畳のしき方やへりにも、意味があります。

祝儀敷き

多くの家で使われる

畳の角が十字に集まらない
縁起がよいとされる

家庭でよく見られる
しき方

不祝儀敷き

特別な場で使われる

畳の角が十字に集まる
特別な場に使われることがある

公共の施設など
で見られることがある

ポイント

- 畳のふちの布を「へり」といい、家によって色や柄がちがいます。
- へりを踏まないようにするのは、古くからのマナーのひとつです。

やってみよう

1. 和室を歩くとき、へりを踏まないように意識してみよう。

ワンポイント へりの柄には、昔は身分によって使えるものが決まっていたともいわれています。

書いて覚えよう

Lesson 7

畳のよさ

畳には、日本の気候に合ったよさがあります。

ポイント

- 畳は湿気を吸ったり出したりして、部屋の湿度を調えます。
- い草の香りには、気持ちを落ち着かせる働きがあるといわれています。
- 適度なやわらかさがあり、すわったり、ねころんだりしやすいです。

やってみよう

1. 畳の部屋に入ったとき、どんな香りやさわり心地がしたか書いてみよう。

ワンポイント 畳は、日本の高温多湿な気候に合わせて工夫されてきたしきものです。

書いて覚えよう

Lesson
8-9

和室の座り方・正座

和室には、いろいろなすわり方があります。

正座

せいざ／seiza

ひざを折り、かかとの上に腰を下ろすすわり方

あぐら

あぐら

足を組んですわるすわり方



Emma

正座って、ずっとしてると足がしびれない？



Ken

しびれるよ。あらたまった場では正座、くつろぐときはくずしてすわることが多いかな。

ポイント

- 正座は、あらたまった場面で使われることが多いすわり方です。
- くつろぐときには、あぐらや横座りをすることもあります。

やってみよう

1. 正座を30秒くらいしてみよう。感じたことを書こう。

書いて覚えよう

Lesson 10

座布団のマナー

座布団にも、使い方のマナーがあります。

ポイント

- 座布団は、すすめられてから使うのがマナーとされています。
- 座布団を踏んで歩くのは失礼とされています。
- 座布団には正面（房のある側など）があることが多いです。



Ken
座布団は、すすめられるまで待つのがマナーなんだよ。

Emma
そうなんだ。勝手にすわらないように気をつけるね。



やってみよう

1. 家に座布団があれば、正面がどちらか見てみよう。

書いて覚えよう

Lesson
11-12

ふすまの開け方・障子の役割

ふすまや障子にも、開け方や役目があります。

ポイント

- ふすまは、両手でそっと開け閉めするのがていねいな作法とされています。
- 障子は紙を通して光をやわらかく入れながら、外からの視線をさえぎる役目があります。
- 障子紙は、時間がたつと張りかえることがあります。

やってみよう

1. 家や学校でふすまや障子を見つけたら、そっと開け閉めしてみよう（大人といっしょに）。

ワンポイント ふすまや障子は軽い建具なので、いきおいよく開け閉めすると傷むことがあります。

書いて覚えよう

 個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

Lesson 13

床の間の役割

床の間は、和室の中でも特別な場所です。

床の間
とこのま
掛け軸や花をかざる、和室の特別な空間

掛け軸
かけじく
床の間にかける絵や書

ポイント

- 床の間には、掛け軸や生け花をかざることが多いです。
- 床の間の前は上座とされ、お客さまにすわってもらう席になることが多いです。

やってみよう

1. 床の間がある部屋を見たことがあれば、何がかざられていたか書いてみよう。

書いて覚えよう

Lesson
14-15

和室の照明・和室の季節のしつらえ

和室は、光や季節の飾りで表情を変えます。

昔の明かり

行灯（あんどん）など、やわらかい光を使っていました

今の明かり

天井の照明を使う和室が多くなっています

季節の飾り

掛け軸や生け花を季節に合わせて変えることがあります

ポイント

- 和室は、季節によって飾りを変えて楽しむ文化があります。
- 夏は風鈴、冬はあたたかみのある道具など、季節感を大切にします。

やってみよう

1. 今の季節に合う和室の飾りを、1つ考えてみよう。＿＿＿＿＿＿＿＿

書いて覚えよう

Lesson 16

和室と洋室のちがい

和室と洋室には、それぞれのよさがあります。

和室

床にすわる暮らし

畳にすわる・寝る
家具が少なく広く使える

ふすまで仕切る
部屋の使い方を変えやすい

洋室

いすに座る暮らし

ベッドやいすを使う
立ち座りがしやすい

家具の位置が決まりやすい
部屋の目的が固定されやすい

ポイント

- どちらがよい・悪いということはなく、それぞれによさがあります。
- 今の家では、和室と洋室を組み合わせていることも多いです。

やってみよう

1. 自分の家にある和室・洋室を書き出してみよう。

書いて覚えよう

Lesson 17

畳の手入れ

畳は、手入れをすることで長く使えます。

ポイント

- 畳の目にそってそうじきをかけると、傷みにくくなります。
- 湿気がこもらないよう、ときどき窓を開けて空気を入れかえます。
- 使い方によって、表面を裏返したり、新しくしたりすることがあります。

やってみよう

1. 家に畳の部屋があれば、そうじの仕方を聞いてみよう。

ワンポイント 水をこぼしたときは、すぐにふき取ると畳が傷みにくくなります。

書いて覚えよう

Lesson
18-19

今の暮らしと和室・和室を楽しむ

今の暮らしの中でも、和室は大切にされています。

今も残る和室

家の中の1部屋だけを和室にしたり、来客用の部屋として残したりする家もあります。
旅館やお寺、茶室など、和室にふれられる場所は身近にたくさんあります。

ポイント

- 和室があるかどうかは、家庭によってちがいます。
- 床にすわってくつろぐ時間を大切にする人も多くいます。

やってみよう

1. 和室でどんな時間を過ごしてみたいか書いてみよう。

書いて覚えよう

 個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

Lesson 20

写真や実物を見てみよう

本物の和室や畳を、自分の目で見てみよう。

写真で

旅館やお寺の和室の写真をさがしてみよう

家の中で

家にある畳や座布団を観察してみよう

まちで

和室のあるお店や施設をさがしてみよう

やってみよう

1. 見つけた和室の写真や実物について、気づいたことを書こう。

ワンポイント 美術館や資料館にも、昔の和室のようすがわかる展示があることがあります。

書いて覚えよう

Lesson 21

体験してみよう

実際に畳の上で過ごしてみよう。

やってみよう

1. 畳の部屋があれば、はだしで歩いてみて、フローリングとのちがいを感じてみよう。
2. 正座やあぐらなど、ちがうすわり方を試してみよう。
3. 畳の目の数から、部屋の畳数を数えてみよう。

ポイント

- 畳の部屋がないときは、旅館やお寺、公共施設で体験する方法もあります。
- 体験したら、感じたことを言葉にしてみましょう。

ワンポイント 和室に入るときは、くつやスリッパをぬいでから入りましょう。

書いて覚えよう

Lesson 22

由来と意味をおさらい

畳と和室の由来を、もう一度確認しよう。

ポイント

- 畳は、もともと身分の高い人のためのしきものだったといわれています。
- 時代とともに、部屋全体に畳をしきつめる形が広まっていきました。
- 今では、日本らしい暮らしを感じられる場所として親しまれています。

やってみよう

1. 畳の由来について、覚えていることを書いてみよう。

書いて覚えよう

Lesson 23

地域によるちがい

畳や和室には、地域によるちがいがあります。

ちがうところ	内容
畳の大きさ	京間・江戸間・団地間など、地域で差がある
和室の数	気候や住まいの形によって差がある
飾り方	地域の行事に合わせた飾りをすることがある

ポイント

- 同じ日本でも、地域によって畳の大きさや和室の使い方はちがいます。
- 「必ずこう」と決まっているわけではなく、家庭ごとのちがいもあります。

やってみよう

1. 自分の地域では、どんな和室が多いか調べてみよう。

書いて覚えよう

Lesson 24

昔と今をくらべよう

和室の役目は、昔と今で少し変わってきました。

昔

暮らしの中心

ねる・食べるも和室
1部屋を何通りにも使う

家族が集まる場所
和室が中心の暮らし

今

選べる暮らし

洋室と組み合わせる
目的ごとに部屋を分ける

和室は特別な場所に
来客や趣味の部屋として使う

やってみよう

1. 自分の家の暮らし方は、昔と今、どちらに近いか考えてみよう。

_____

書いて覚えよう

Lesson 25

よくある疑問

和室についての疑問を確かめよう。



Emma

和室に入るときは、いつもくつ下をはいたほうがいいの？



Ken

家庭やお店によってちがうけれど、はだしOKのところも多いよ。気になるときは聞いてみよう。

ポイント

- 和室のマナーは、家庭や地域、場面によって少しずつちがいます。
- 迷ったときは、その場のやり方に合わせるのがいちばんです。

やってみよう

1. 和室について、まだ疑問に思っていることを1つ書いてみよう。

書いて覚えよう

Lesson 26

マナーと注意点

和室で気をつけたいことを確認しよう。

ポイント

- 畳の上にくつやスリッパのまま上がらないようにします。
- へりや座布団を踏まないように気をつけます。
- 重い家具などを引きずると畳が傷むので、持ち上げて運びます。

ワンポイント 水分の多いものをこぼしたときは、大人といっしょにすぐふき取りましょう。

書いて覚えよう

Lesson 27

用語をおさらい

この教材で出てきた言葉を確認しよう。

畳の部分

- ☐ **い草**
  畳表の材料
- ☐ **へり**
  畳のふちの布

部屋の道具

- ☐ **ふすま**
  部屋を仕切る引き戸
- ☐ **床の間**
  掛け軸や花をかざる場所

すわり方

- ☐ **正座**
  ひざを折るすわり方
- ☐ **あぐら**
  足を組むすわり方

数え方

- ☐ **畳数**
  畳の数で表す部屋の広さ
- ☐ **京間・江戸間**
  地域による畳の大きさのちがい

ワンポイント 覚えた言葉に✓をつけよう。言葉を知ると、和室をより深く楽しめます。

書いて覚えよう

Lesson 28

復習クイズ

ここまでの内容をチェックしよう。

1. 言葉と意味を線でむすぼう

畳	●	● ア. ひざを折るすわり方
床の間	●	● イ. 畳のふちの布
正座	●	● ウ. い草を編んだしきもの
へり	●	● エ. 足を組むすわり方
あぐら	●	● オ. 掛け軸や花をかざる場所

2. 空らんに入る言葉を書こう

1. 畳の表面を編む植物を［　　］という。
2. あらたまった場で使われるすわり方を［　　］という。

3. 正しいほうに○をつけよう

1. 踏まないほうがよい畳のふちの布 → （ へり ／ 障子 ）
2. 掛け軸や花をかざる場所 → （ 床の間 ／ 座布団 ）

書いて覚えよう

Lesson 29

ふり返りチェック

できるようになったことを確かめよう。

☐	**和室の特徴を3つ言える**	畳・ふすま・床の間など
☐	**正座とあぐらのちがいを説明できる**	すわり方の力
☐	**座布団のマナーを1つ言える**	作法の力
☐	**畳のへりを踏まないようにできる**	気づかいの力
☐	**和室と洋室のちがいを言える**	くらべる力

ポイント

- ✓がつかなかった項目は、もう一度そのページにもどってみましょう。
- 少しずつできることが増えていけば十分です。

書いて覚えよう

Lesson 30

家族や友だちに話してみよう

和室について、家族や友だちと話してみよう。

聞く相手	
和室があるか	
思い出やエピソード	
好きなところ	

Ken の例

聞く相手 おばあちゃん／和室があるか ある／思い出 お正月にみんなで畳にすわって過ごした／好きなところ い草の香りが落ち着く

ポイント

- 家族の思い出を聞くと、和室のよさをより身近に感じられます。

書いて覚えよう

Lesson 31

英語で紹介してみよう

和室のことを、英語でも紹介してみよう。

部屋を案内する

This is a tatami room.
これは畳の部屋です。

Please take off your shoes here.
ここでくつをぬいでください。

すわり方を伝える

We sit on the floor here.
ここでは床にすわります。

This is called seiza.
これは正座とよばれます。

やってみよう

1. 和室を外国の人に案内するつもりで、英語のフレーズを声に出してみよう。

書いて覚えよう

Lesson 32

もっと知りたい人へ

和室の世界は、まだまだ広がっています。

もっと知りたい人へ

図書館で
和室や住まいの本を借りる

旅館やお寺へ
本物の和室にふれてみる

動画で
畳職人の仕事を見てみる

次のステップ

庭園
和室から見える庭を知る

茶の湯
和室で行われる作法を知る

着物
和室に合う装いを知る

ポイント

- この教材の次は「庭園」。和室から見える景色にも目を向けてみましょう。

書いて覚えよう

Lesson 33

学んだことをまとめよう

この教材で学んだことを、自分の言葉でまとめよう。

まとめ　自分の言葉で書こう

1. 和室とは、どんな部屋ですか。＿＿＿＿＿＿＿＿
2. いちばん印象に残ったことは？＿＿＿＿＿＿＿＿
3. これから体験してみたいことは？＿＿＿＿＿＿＿＿

和室ミッションカード

MISSION 1
家や学校で畳を見つけてさわってみる

MISSION 2
正座を30秒してみる

MISSION 3
家族に和室の思い出を聞く

MISSION 4
和室のある場所を1つ調べる

できたミッションに✓をつけよう：　☐1　☐2　☐3　☐4

書いて覚えよう

Lesson 34

和室と畳チャレンジ

身近なところから、和室の世界を広げよう。

見つけよう
身のまわりで**畳**をさがしてみる

感じよう
い草の香りやさわり心地を確かめる

伝えよう
和室のよさを誰かに話してみる

こたえ

L28 畳→ウ 床の間→オ 正座→ア へり→イ あぐら→エ　2. い草 ／ 正座　3. へり ／ 床の間

L33 （例）畳をしいた日本風の部屋で、季節や場面によっていろいろな使い方ができる部屋。

書いて覚えよう

和室と畳（Season 7 ｜ No.61）
発行：一般社団法人文化芸術支援協会
この教材の著作権は一般社団法人文化芸術支援協会に帰属します。個人の学習および家庭内での利用に限り、閲覧・保存・印刷ができます。
有料の講座・塾・研修での使用、販売・再配布、改変しての公開、生成AIへの入力などの商用利用は禁止しています。
くわしくは当協会ウェブサイトの「ウェブサイト利用規約」をご覧ください。